

お客様の声

アナログで行っていた熱処理工程の確認作業をデジタル化。手間の軽減、ロスコスト低減を実現。さらなる省力化の可能性も。

顧客名	果研デベロップメント株式会社様
業種	食品添加物製剤開発、製造、販売
導入システム	でじろーくん
導入業務	原料の殺菌温度、時間の確認

導入前は紙で出したグラフを「物差し」で計測、アナログならではの不具合も。

これまでは、殺菌温度とそれに要した時間を確認するため、紙に印刷されたグラフ（図1）を物差しで計り、その長さから時間を算出していました。ただこの方法では、厳密な時間を出すために手間がかかりました。また、インク切れやにじみ、紙詰まりを起こすことがあり、不具合発生時は記録がとれないので製品廃棄という問題もありました。

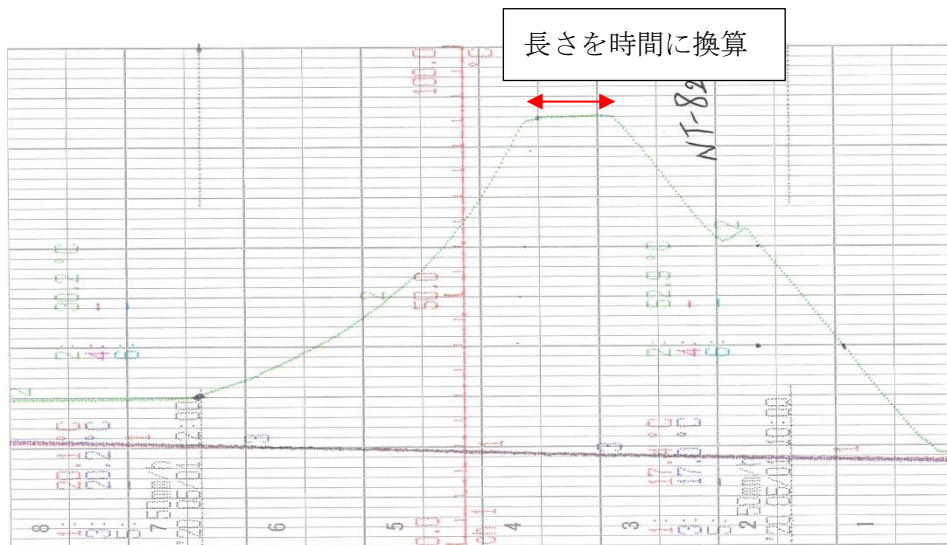


図1 導入前

でじろーくんの導入で、正確な時間が手早く判定できるように。

計測の自動化、測定結果のデータ化（図2）で障害や手間が解消されただけでなく、正確な時間をこれまでより細かく、早く確認することが出来るようになりました。また、出張などでデータ確認が出来なかった時も、蓄積された過去の履歴を都度確認できるので困ることもなくなりました。

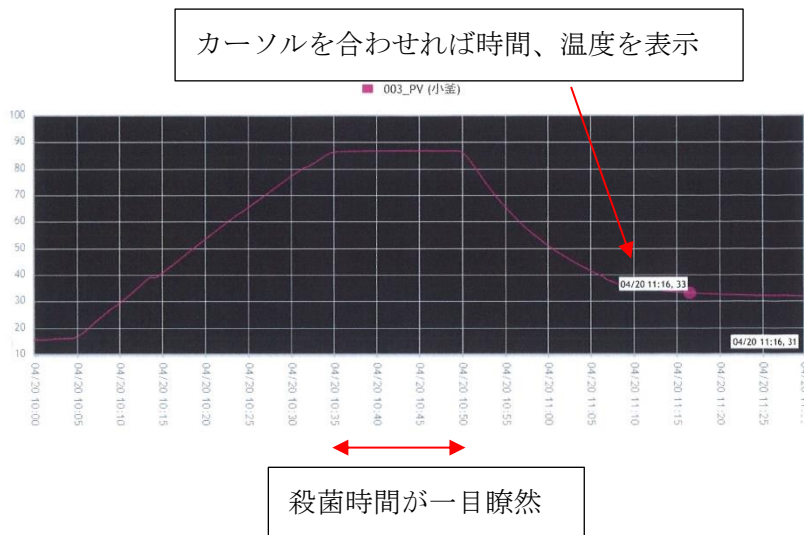


図2 導入後

思わぬ副産物。設備のノウハウが見える化できるように。

炉ごとに設置していた計測器を一つにまとめたことで効率化も図られ、炉ごとの温度変化の違いなど、複数データの比較もPC上で容易にできるのが嬉しいですね。ペーパーレス化にも大きな効果を得ています。

高いレベルのエビデンスに対応。在庫管理やトレーサビリティも。

今は（でじろーくんの活用は）殺菌温度・時間の管理だけですが、例えば今後取引先にデジタルデータのエビデンスを求められた時、今の体制なら素早く対応できると思います。ただ、客観的な信頼性という面ではまだ弱いところがありますので、今後、でじろーくんのメール自動送信や帳票作成などの機能を付加したりして、質も信頼性も高いものにする必要はあるかなとは思っています。またこのやり方を、効率の良い在庫管理や、トレーサビリティに活用することもできると思います。

大きな規模、シビアな工程管理ほど効果は大きいだろう。

弊社はそこまで大きな規模ではありませんが、でじろーくんによる省力化、時間短縮はコストや手間の削減だけでなく、全体の生産性向上にかなりの効果があると感じています。規模の大きな工場ほど、また温度や時間などの条件管理がシビアなところほど、でじろーくんの導入によるデジタル化やペーパーレス化の効果は大きいでしょう。



社長の東様（左）と品質管理ご担当の津田様（右）